

当館の文書レファレンス処理について

—公共図書館・大学図書館への期待—

当館に各地からよせられる文書による問い合わせを依頼者別にして、その順位をあげますと、一般公衆、大学附属図書館、各種調査機関、公共図書館となります。〔表1参照〕

その内容を分析すると文献所蔵有無調査や簡易な事実調査などが非常に多く、〔表1〕のカッコ内の数字がそれにあたります。一般公衆の場合は、公共図書館を利用した方がはるかに便利でよいと思われるものが、かなりたくさんあります。各地の公共図書館の存在や利用の仕方がよく知られていないために、このように多く簡単な問い合わせが直接当館によせられるのではないかと考えられます。そこで当館では、この種の文書レファレンスに対しては「レファレンス・サービスの利用について」〔表Ⅱ〕を回答に同封することにしてあります。

つぎに、これは特に大学附属図書館の職員あるいは大学の学部・学科、研究室、研究所の教職員や学生から寄せられる文書レファレンスの場合目立つのですが、複写をとまなう文献の所蔵有無調査が相当数あることは、一般公衆の場合と同じであります。これらの教職員や学生からの問い合わせについては、大学附属図書館に備え付けられている当館の所蔵目録類を利用することによって、多くが解決できますので、当館にお問い合わせになる前にまず大学附属図書館を利用してくださいようおすすめすることにしてあります。

当館では、所蔵資料をより広く利用していただくために、各種の冊子体所蔵目録を作成して、都道府県立図書館、大学附属図書館などへ配布しています。あわせて、文献複写の申込用紙なども配布しておりますので、地方

から当館所蔵文献の複写をお申込みになる場合には、これらの各図書館に備え付けられている所蔵目録類を利用したうえで、複写申込用紙に必要事項を記入し捺印すれば、郵送によって文献複写を申込むことができます。

しかし、蔵書目録が備えられているということが、意外に徹底していないのに、いささか失望している現状です。文部省の「学術雑誌総合目録」、「国書総目録」などの利用も、また遺憾の感なきを得ません。また複写申込用紙は、現在のところ当館の所定用紙以外では受けつけられない状況にありますが、大学間に用いられている各種の相互利用申込書もまた当館には通用しません。したがって、そのつど、その旨を申しあげているのですが、担当者が絶えずかわるということでもあるのでしょうか、ご理解頂けない状況にあって、お互いに時間の浪費をしている次第です。

なお、帝国図書館の蔵書目録の第2篇から第5篇までは、多少残部がありますので、県立図書館、大学図書館等から寄贈願を当館連絡部に送付して頂いて、利用、案内に役立たないと考えております。県立図書館には、先日のワーク・ショップの時申しあげたのですが、寄贈願を送って下さった館は現在10館未満であります。

次の文書レファレンスは一般公衆、公共図書館および大学附属図書館から寄せられたごく最近の事例で、それぞれの地域の図書館で解決できるようなものをあげてみました。

〔「都道府県別・依頼者種別・文書レファレンス受理件数」は、さる1月28日に開かれた全国公共図書館参考事務研究会の出席者

に配布したもので、スケジュールの都合上説明できなかつたものです。)

(事例1)

文献複写依頼 和歌山新聞掲載の和歌山県立医科大学の昭和43、45年度の入学試験合格者名簿(和歌山市 一般公衆)

〔回答要旨〕

和歌山新聞は当館で所蔵しており、ご希望の記事は第一面に出ております。これはとくに地元の新聞でもあり、直接和歌山県立図書館で現物を閲覧されるか、あるいはそこで複写を依頼される方が便利ではないかと思われまゝ。電話で連絡したところ、同紙は所蔵しており、この件はそちらで処理するとのことですので、県立図書館へご相談下さい。当館で複写するとすれば、郵便の往復日数や料金の支払などのため、かなりの日数がかかりますので、県立図書館をご利用になった方が早く入手出来ると思われまゝ。なお当館の所蔵目録、および文献複写申込用紙もそちらに送付されております。

(事例2,3)

文献複写依頼 Bibliothekar vol. 23 no. 7~8 (宮城県 大学附属図書館)

文献複写依頼 Journal of Applied Chemistry vol. 31 (熊本県 大学職員)

〔回答要旨〕

お申越しの文献は当館で所蔵しています。複写申込みについては別紙「写真複製案内」をご参照の上、同封の複写申込用紙によりお申込み下さい。なお貴大学附属図書館にはすでに当館の所蔵目録類、および文献複写申込用紙が送付されておりますので、以後はそれにより必要事項をお調べの上、所定の欄に記入して、当館閲覧部運営課写真複製室までお申込み下さい。

(事例4)

『西洋医事集成宝函』の複写依頼(福岡市 大学関係者)

〔回答要旨〕

ご希望の文献は、当館には所蔵しておりません。所蔵館は『国書総目録』をごらん下さい。なお、当館の蔵書目録、複写申込用紙は貴大学に備えつけられていますので、今後はそれをご利用下さい。

(事例5)

高知県東京出張所、高知県人会の住所について(高知県 一般公衆)

〔回答要旨〕

1. 高知県東京出張所 東京都千代田区霞が関3-3-3 尚友会館内 (電)581-2153
2. 高知県人会 東京都港区南麻布5-1-60 高知県東京宿泊所内 (電)473-0205

なおこの種のお問い合わせは、県立図書館等へ直接おたずねになった方が早く必要なことがらを知ることが出来ると思われまゝ。

(事例6)

『山藪養法秘伝抄』(文政11年)の請求記号、貸出の可否、複写費用について(山口市 公共図書館)

〔回答要旨〕

文政11年版の『山藪養法秘伝抄』は、あいにく当館にありません。『国書総目録』によれば、東京国立博物館、無窮会神習文庫に所蔵されています。

次の事例は、今後の課題として提出する件ですが御一考頂きたい。

才神時雄著『松山俘虜收容所』の発行所と定価。(神戸市 一般公衆)

これは、昭和44年に発行された中公新書で、定価は200円ですが、地方公共図書館の多くには所蔵されているのではないでしょう

か。あるいは、所蔵していても質問者が図書館を訪ねていないのでしょうか。問い合わせのなかには極めて著名な単行本、雑誌、新聞に関するものがありますが、そんなにも中央でないダメだというムードがゆきわたっているのでしょうか。当館と公共図書館との間で、今後の討議問題としてここに出しておきます。

なお、〔表Ⅲ〕は、昭和45年度1カ年間の文書レファレンスの統計で、ご参考までにあげておきました。

(一般参考課文書担当)

〔表Ⅱ〕

レファレンス・サービスの利用について		
国立国会図書館参考書誌部		
この種のレファレンス・サービスは、もよりの公共図書館でもおこなっております。今後は、直接当館にお問い合わせになる前に、下記の図書館をまずご利用くださるようお願いいたします。		
図書館名	所在地	電話番号

〔表Ⅰ〕

都道府県別・依頼者種別・文書レファレンス受理件数

(自昭和45年4月一至昭和45年10月)

	一般公衆	公共図書館	大学図書館	その他
北海道	47 (37)	0 (0)	25 (23)	15 (4)
青森	33 (20)	1 (0)	1 (1)	2 (2)
岩手	8 (6)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
宮城	15 (14)	0 (0)	35 (34)	11 (11)
秋田	32 (29)	2 (2)	0 (0)	1 (1)
山形	40 (16)	0 (0)	10 (10)	0 (0)
山福	63 (56)	1 (1)	6 (4)	1 (0)
茨城	37 (22)	0 (0)	5 (2)	0 (0)
栃	9 (1)	0 (0)	33 (30)	1 (1)
群	28 (2)	13 (13)	0 (0)	0 (0)
埼	39 (10)	0 (0)	0 (0)	4 (3)
千	31 (2)	7 (5)	4 (3)	0 (0)
東	110 (51)	1 (0)	20 (12)	24 (13)
神奈川	68 (24)	4 (1)	7 (7)	18 (17)
新	25 (16)	4 (3)	10 (8)	3 (1)
富	11 (2)	3 (0)	4 (4)	2 (1)
石	15 (15)	0 (0)	1 (0)	2 (2)
福	6 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
山	15 (5)	0 (0)	1 (1)	0 (0)
長	43 (17)	7 (2)	6 (6)	112 (104)
岐	33 (23)	31 (30)	11 (11)	1 (1)
静	58 (34)	1 (1)	2 (2)	5 (2)
愛	107 (97)	0 (0)	32 (28)	15 (6)
三	96 (83)	18 (9)	6 (6)	18 (18)
滋	46 (44)	0 (0)	0 (0)	7 (0)
京	64 (48)	0 (0)	63 (18)	81 (60)
大	126 (95)	2 (2)	42 (38)	56 (47)
兵	175 (144)	0 (0)	8 (4)	86 (30)
奈	24 (15)	7 (7)	3 (3)	11 (11)
和	31 (15)	3 (1)	1 (1)	0 (0)
鳥	0 (0)	5 (0)	40 (39)	4 (4)
島	11 (0)	4 (1)	5 (5)	1 (1)
岡	100 (11)	28 (20)	4 (4)	4 (2)
広	89 (9)	4 (1)	18 (18)	13 (13)
山	11 (3)	2 (0)	18 (16)	42 (41)

	一般公衆	公共図書館	大学図書館	その他
徳島	4 (1)	0 (0)	12 (12)	0 (0)
香川	14 (9)	2 (1)	16 (16)	0 (0)
愛媛	3 (1)	7 (0)	20 (19)	1 (0)
高知	31 (21)	0 (0)	2 (2)	9 (8)
福岡	43 (30)	1 (0)	82 (66)	17 (17)
佐賀	9 (7)	0 (0)	12 (12)	3 (3)
長崎	15 (9)	0 (0)	1 (1)	6 (6)
熊本	15 (6)	14 (2)	22 (21)	0 (0)
大分	11 (11)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
大宮	49 (17)	0 (0)	17 (17)	11 (11)
鹿兒島	11 (5)	0 (0)	15 (10)	5 (4)

(注1) なお、()内は単純な所蔵有無調査、当館利用案内等日時を要さないレファレンス数を示す。

(注2) 官公庁附属研究所、民間研究所等はその他に含まれる。

〔表Ⅲ〕

レファレンス業務統計(参考書誌部)

(単位 件)

(昭和45年4月～昭和46年3月)

		文献目録 作成	文 調	献 査	簡易な事 実調査	書誌的 事項	所 調	在 査	利 案	用 内	そ の 他	合 計	
回 答 手 段 別	文 書	9	750	424	764	4,190	120	68	6,325				
	口頭(電話を含む)	0	4,783	4,938	4,974	36,829	79,415	1,627	132,566				
	合 計	9	5,533	5,362	5,738	41,019	79,535	1,695	138,891				
依 頼 者 別	国 会 議 員	3	241	96	32	207	64	15	658				
	国会関係者	1	125	98	55	135	108	10	532				
	行政・司法関係	0	214	108	70	474	139	28	1,033				
	地方公共団体	0	51	36	16	116	45	7	271				
	図書館関係	大 学	0	154	107	87	1,167	124	24	1,663			
		公 共	0	104	93	75	341	40	14	667			
		その他	0	17	20	18	97	24	44	220			
	調査研究機関	0	629	1,849	1,915	4,719	2,464	174	11,750				
	一 般 公 衆	0	3,885	2,902	3,282	33,441	76,418	1,366	121,294				
	外 国	5	113	53	188	322	109	13	803				
合 計	9	5,533	5,362	5,738	41,019	79,535	1,695	138,891					